

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	地域コミュニティ学	
科目基礎情報							
科目番号	0013		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	創造工学科 (電気・電子コース)		対象学年		1		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材	プリントを配布						
担当教員	正村 亮						
到達目標							
1. 地域の基礎データ、産業、伝統、文化を理解することができる。 2. 居住する地域を話題に他者とコミュニケーションできる。 3. 居住する地域の特徴などを他者が理解できるよう表現できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	居住する地域の問題点や将来を考えることができる。		地域の基礎データ、産業、伝統、文化を理解することができる。		地域について、理解しようとしていない。		
評価項目2	他者の発言を促すようコミュニケーションを誘導できる。		居住する地域を話題に他者とコミュニケーションできる。		他者とコミュニケーションできない。		
評価項目3	表現において、図表等を用いて、さらにわかりやすく表現できる。		居住する地域の特徴などを他者が理解できるよう表現できる。		他者が理解できるような表現ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	居住する地域の面積、人口などの基本データや産業、伝統、文化、習慣などを知ると共に、それらを話題に他の学生とコミュニケーションする。						
授業の進め方・方法	グループワークを主に、前後に基調講演、アイスブレイク、発表を実施する。グループワーク際は、ファシリテーターより助言をもらながら進める。						
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 担当教員の自己紹介、シラバスの見方、授業の目標、進め方、評価の仕方、等を伝える。		科目の内容や進め方を理解できる。		
		2週	WRAP：元気回復行動プラン～		自分が元気であるために、自分自身でプランを作成する。		
		3週	学校探検 「中学校と違う新しい発見」をしてもらう。グループで校舎内自由行動。新しく発見できた内容を作文で報告。		指示されたミッションを理解し、行動し、得た知識・知見を文章で表現できる。		
		4週	基調講演 地域の企業経営者		地域の産業や将来について理解できる。		
		5週	基調講演 学校長		講演内容を理解でき、理解した内容を文章で表現できる		
		6週	地域課題⇒講演を聞いて、地域の課題を考える。		講演を聴講し、自分達が住んでいる地域の課題を理解する。		
		7週	地域課題⇒課題解決に関するディスカッション。		グループ内でコミュニケーションを取り、課題解決に向けた議論ができる。		
		8週	パネルディスカッション 各学科5年生が学科についてディスカッション⇒感想文		他者の会話を聞いてその内容を理解でき、文章としてまとめることができる		
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術史	技術史	歴史の大きな流れの中で、科学技術が社会に与えた影響を理解し、自らの果たしていく役割や責任を理解できる。		1	
		グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。		1	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	30	40	30	0	100
基礎的能力	0	0	10	20	10	0	40
専門的能力	0	0	10	10	10	0	30

分野横断的能力	0	0	10	10	10	0	30
---------	---	---	----	----	----	---	----